

各 位

6次産業創造をめざす研究会の開催について

日ごろから県内産業振興にご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。
地域経済の衰退の指摘もされますが、私たちはこれを脱却するために、静岡県環境ビジネス協議会内にて、表記の研究会を開催推進することと致しました。

これはテーマ別セミナーだけでなく、川勝県知事の「第一回ものづくり道場」での呼びかけのようにビジネス化を目指した情報交換、連携の場作りを進めるものです。この目的は、

- (1) ソーシャルビジネスの進展を目指すものであり、農林業を基礎とした産業連携の実現化を図る。
- (2) 地域資源である農林産物の活用との連携を基本にすえた6次産業をエコアグリネットワークとして組織化をすすめる。
- (3) 具体的には数多くの新連携、農商工連携、地域総合連携を進めるための実践的な種まきと活動拠点とするものです。

下記により年度内にスタートさせ、22年度に具体的なワークショップを推進したいので、ぜひ多くの皆様の参加をお願いいたします。

記

1. 日 時 平成22年3月4日(木) 14:00～16:00
2. 場 所 産業経済会館3F(静岡市葵区追手町)
3. 内 容
 - 1) 研究会の趣旨の提起
 - 2) 活動方針の討議決定
 - 3) 役員を選任(顧問、代表、委員、事務局長)
* 顧問には、松下秀鶴県立大名誉教授、県産業部顧問をお願いしてあります。
 - 4) 会計方針(別途)

※ 参加をご希望される方は、ビジネス協議会事務局((社)静岡県環境資源協会 <fax:054-652-0667、e-mail: kankyou@po.across.or.jp>)宛に、参加希望の旨と所属、氏名、連絡先をご連絡ください。

(仮称) 6次産業創造をめざす研究会

発起人 佐塚 充

(静岡県環境ビジネス協議会企画部会長)

<6次産業創造研究会の課題>

研究会のテーマとワークショップのイメージ（素案）

1. 地域資源活用
海洋深層水の利用による肥料と高収益作物の栽培
（県；企業共同取得特許の活用と農法の確立→全国へ普及）
2. 作物にターゲットした新商材、サービスの開発（農商工連携）
（例）サツマイモ・・・かつては本県は有数の産地であった。遊休地の活用、新商材の開発
（例）大豆・・・国内生産5%、日本の食文化の基本を育てる。
3. 新技術の応用による農業振興（新連携；省エネ農法の推進）
量子水とミスト散布、ハリーヒート、ヒートポンプ、
エマルジョン燃料化など
4. 静岡型有機不耕起農法（産学協同研究課題；地域連携コンソーシアム）
先進事例に学び、新技術の利用と併せた農法を普及させる。
（どじょう、タニシ、カエルの住める田んぼ作りで高品質栽培）
5. 高発酵技術によるマルチ有機肥料の製造と高収益農法
 - ・有機廃棄物の高性能肥料製造へ
 - ・竹材の有効利用
6. 実験農場づくりとクラインガルテンの推進
（地域連携による開発、一社一村活動などとの連携）
（企業の農業参入等）
（観光農園のあり方等）